

やすサミ



議会だより

第180号

2025.2



体育初め

令和6年12月定例会

町長行政報告	2
一般質問 2氏が問う	5
選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	7
安田町地産外商促進センター指定管理者の指定	7
令和6年度補正予算ほか	8

令和6年12月臨時会

条例改正	9
令和6年度補正予算	9

12月11日開会。選挙管理委員会委員及び補充員の選挙、安田町地産外商促進センター指定管理者の指定、令和6年度補正予算等、5議案を審議、2氏が一般質問を行い、13日に閉会した。

行政報告(概要)



黒岩町長

◆物価高騰対策◆

税制改正による定額減税について、定額減税しきれない方に給付する調整給付金は、申請期限である10月31日までに対象者416人のうち401人が申請、総額1460万2千円を給付。

令和6年度に新たに住民税非課税となる世帯及び均等割のみ課税世帯に対し、

1世帯あたり10万円、加算として18歳以下の子ども1人につき5万円を支給する低所得者支援給付金は、対象となる47世帯、子どもへの加算は3世帯6人に対して支給が完了。

◆安田町総合振興計画◆

後期5カ年計画、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向け全庁体制で取り組んでいる中、国・県の方針が未策定の状況も

あり、計画スケジュールに遅れが生じているが「共に生き 未来につなぐ 安田町」の現実に向け、より実効性の高い計画を策定する。



共に生き 未来につなぐ 安田町

◆移住・定住促進対策◆

「移住・定住促進計画」は、これまでの取り組みを整理し、本町の強み・弱みを分析するとともに、大手シンクタンク会社からアドバイザーも受けながら、実効性のある計画策定に取り組む。

移住者確保に向けた取り組みは、県の人口減少対策総合交付金を活用し、基本配分型は、赤ちゃん誕生祝い金の拡充や奨学金返還、子育て世帯支援、やすだ子

◆子育て定期便を支援◆

来年度以降、出会いから結婚までの支援や新規就農者支援の拡充及び移住による起業家の確保など、さまざまな移住・定住に向けた施策を展開していく。

「仕事の場」の確保として、町内事業者の労働力確保等にもつながる特定地域づくり事業協同組合を設立し、令和7年度からスタートできると進めている。

◆ふるさと納税◆

11月末現在、件数が1066件、寄附額は1375万2千円で、前年同期を下回る状況となっている。

一般財源が減少する中で、貴重な自主財源を確保できる事業であり、また、返礼商品は、生産者の所得向上による地域経済の振興にもつながることから、令和7年度以降、中間事業者の活用や職員体制も含め、取り組みの見直しをする。

◆地域公共交通について◆

コミュニティバス「やすら号」の運行状況は、令和5年度と比較すると、デマンド運行では利用者が上回ったものの、路線定期運行は減少しており、全体で232人減少。

今後も地域の実情に沿った公共交通網の整備とともに、新たな利用者の確保やさらなる利便性向上に努める。

町営事業の進捗状況

◆各種事業の進捗状況◆

安田簡易水道施設整備事業、下島頭首工機能保全工事や避難誘導灯更新工事などの早期実施に努めており、ため池廃止事業など一部事業実施に遅れの出ている事業もあるが、早期実施を図っている。

◆総合交流拠点施設・地産
外商促進センター◆

指定管理者の公募を実施、
総合交流拠点施設は、応募
がなく継続募集中。

地産外商促進センターは、
2件の事業者から応募があ
り、指定管理者選定委員会
で審査を行った結果、菓子
製造の知識・実績があり、
本町の特産品を生かした商
品開発や販路拡大の戦略な
ど施設の設置目的を十分に
達成し、良好な施設の運営
管理が期待できる者を候補
者に選定している。

◆多目的交流センターなか
やま・集落活動センター
の活動◆

12月8日開催の「なかや
ま山芋フェスタ」では、自
然薯や地域野菜などの地場
産品の販売、山芋汁やアユ
の塩焼き等、県内各地から
昨年を上回る約1000人
が来場し、大いに賑わった。
「多目的交流センターな
かやま」は、社会福祉協議
会や高知大学、東京映画社

等が事業での活用や「日本
遺産中芸ゆずロードミュー
ジウム」など、10月末まで
に延べ1735人の利用が
あった。

中山地区を対象とした中
山間振興ビジョン策定事業
は、地域の現状や課題等、
住民が地域に対して感じて
いることや意見などを把握
するため、11月から地区の
全戸を訪問しア
ンケート調査を
実施。12月中旬
集計を行い、中
山地区の人口の
推移や産業等
のデータを分析
し、年度内に中
山地区の「ある
べき姿」となる
「将来目標」を
定め、目標の達
成に向けての基
本方針や施策を
取りまとめた上
で、実効性のあ
るビジョンを策
定する。

◆農業振興対策◆

担い手の確保を図るため、
10月に大阪で開催された「高
知県就農相談会」に参加し、
各種支援制度等の説明を通
じて本町のPRを行い、就
農者確保に努めている。

本年度策定する「地域計
画」は、農業振興地域内の
農用地所有者を対象に、今
後における農地の利用に関



高知県就農相談会

する意向調査のため、アン
ケートを実施し、回答いた
だいた内容に基づき地域農
業の在り方など計画(案)
を作成し、座談会を経て計
画策定をする。

◆道路整備等の状況◆

阿南安芸自動車道「安田
く安芸間」のうち、安田西
工区(唐浜地区)は、諸対
策事業に対して関係機関と
合意が得られたことから、
9月20日に確認書と覚書を
交わす調印式を国・県・町・
対策協議会の4者で執り
行った。安田東工区(西島・
東島地区)は、これまでに
2回の対策協議会を開催し、
排水対策や周辺道路対策な
ど地域から挙げた意見を
取りまとめ、まとめ次第、
関係機関と検討協議を進め
る。

本年4月事業化の「安田
く奈半利間」は、現在、測
量など設計に向け基礎調査
を行っており、道路設計(案)
ができ次第、関係者に対し
て設計説明会や幅杭の現地

説明会を行う計画。

阿南安芸自動車道の早期
整備に向けて関係団体と連
携し、10月に四国地方整備
局、11月に国土交通省・財
務省及び地元選出国会議員
への要望活動を実施してい
る。

◆安田町制施行100周年◆

大正14年2月11日に安田
村が町制を施行し、令和7
年2月11日に100年を迎
える。

本町のこれまでの歩みを
振り返るとともに、輝かし
い未来に向けて新たな出発
を町民の皆さんと共に祝い、
盛り上げるために町制施行
100周年記念事業を実施
する。

令和7年秋ごろに開催を
予定している100周年記
念式典の運営管理業務と本
町誕生100年の歩みと歴
史、これからの未来に向け
活力になる記念映像制作を
するため、公募型プロポー
ザル方式により委託業者を
選定した。記念事業を円滑

に推進するため、町内の各種団体や関係者等で組織する実行委員会を設置していく。

◆国民健康保険事業◆

12月2日以降、従来の国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者証の発行は終了したが、必要な方には資格認書または資格情報のお知らせを発行している。

開かれた
町政運営

町長室の開放、中山支所での執務では、休日や夜間も開催し、6月から11月まで延べ39人の訪問があり、住民の方々からさまざまな意見をいただいた。また、「町長への手紙」事業は、11月末まで6件の投稿があった。地域住民懇話会は、11月末まで8カ所で実施し91人の方に参加をいただいている。

教育行政の状況

県の人口減少対策交付金を活用した「子育て世帯支援事業（高校生一人当たり月額5千円支給）」の交付状況は、現在37世帯（39人）中、33世帯（34人）の申請があり、102万円を交付。

11月中旬に町内で、下校途中の女子中学生が不審者に追いかけられるという事案が発生。報告を受けた後、直ちに園、小中学校の保護者全員に注意喚起と同時に、スクールガードリーダー、駐在所、青少年育成センターに情報共有し、パトロールの強化を依頼するとともに、PTA自主防犯パトロール（青パト）の強化を図っている。

◆学校教育◆

小学5年生の地域学習「もち米づくり」では、自分たちで田植えをし、収穫時に

は鎌で刈り取る体験を行った。収穫したもち米は、食生活改善推進協議会の指導のもと、郷土料理づくり体験と試食会を行い、食育学習を深めた。

中学校ではキャリア教育の一環として、県農業振興センターとJ

A高知県安芸地区営農指導課の協力の下、ナスのハウス栽培を中心に農業の現状とITなど最先端技術を駆使したスマート農業などの説明を受けたのち、中芸集出荷場や新規就農者のハウス栽培を見学し、学習を通じて農業を深く知る取り組みを行っている。



中学校でのキャリア教育

◆社会教育◆

「生涯いきいき学習講座」は、人権・防災・芸能スポーツの各分野の講師を招き、3回の講座には町内外から延べ379人の参加があった。全講座に参加した45人には修了証書を手渡した。

特に、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表横田拓也さんの講演は関心も高く参加者の多くが講演内容に心を打たれ、ごく普通に生活をする中で拉致被害に遭った話に胸を痛め共感していた。

寧浦全国色紙展は、第31回を迎え全国各地から総数308点の応募出品があり好評を博した。

安田まちなみ交流館・和企画展では、7月27日から開催していた襲名100周年記念「六世 竹本土佐太夫」前期展が終了し、11月6日から後期展を開催中。

「安田っ子体験事業」は、11月7日に小中学校の全校生徒と一般の方が一緒に、「和楽器オーケストラあいおい」の生演奏を鑑賞した。公演前には、中学1、2年生が和楽器体験ワークショップを行い、本公演では一緒に演奏するなど貴重な体験となった。

一般質問 ことが知りたい

Q 災害時における持続可能な水の確保について

A 自治組織等の活動補助金を活用し地域で水の備蓄を



安並議員

問 災害時の水の確保は地域住民の生命を守る上で極めて重要な課題である。

持続可能な水の確保には、いろいろな方法があるが、本町においては地質学的に安定している地下水を利用する井戸が最適と考える。

町内には個人所有の井戸が存在しており、井戸の所有者に協力を求め、災害時の水を確保するのむとつ

の手段ではあるが、個人所有の井戸は電力で稼働しているものが大半を占めているため、大規模災害時において、電力の供給が途絶えれば利用がでなくなる。

私の考えは、電力に依存しない手動式の井戸を各地域の災害拠点や物資配送拠点などに設置することで、安定した水を確保し地域住民の生命と健康を守ることが必要不可欠と思うが、防災井戸を設置する考えはなにか聞く。



手島総務課長

答 災害時の水の確保については、水の備蓄、雨水や

地下水の利用、貯水タンクの設置などが考えられる。現在、町では飲料水の備蓄、浄水器の整備や避難所となる町文化センターには、災害時にも活用できる手押しポンプ付き井戸を設置している。また、防災拠点である庁舎には受水槽を設置し、

初動期における水の確保を図っている。

本町は、古くから施設園芸を中心に発展し、地下水を農業用灌漑として活用するため、個人所有の井戸が存在しているが、その多くが電力を動力とし災害時には限界がある。

また、各地域への防災井戸の設置については、地域ごとに設置場所や管理方法について整理する必要があり、地域の皆様のご理解とご協力が必要となることから、今後は災害時の安定的な水の確保について、最も効果的な方法を調査検討していきたい。

現状、各地区の避難所など水の確保については、「魅力あふれるまちづくり活動促進事業補助金」により、自治学級単位等で、年間7万円を上限に水などの備蓄品の購入に対し支援を行っている。まずは補助事業を積極的に活用し、地域で水の確保に取り組んでいただきたい。



水が備蓄されている防災倉庫

Q 中芸広域シルバー人材センター解散に伴う新たな人材センター等の対応について

A 既存の仕組みを活用しながら各関係団体と検討



中島議員

問 中芸広域シルバー人材センターは12月31日をもって解散することが決定している。本町でも利用者が多く、利用件数は、平成31年度に31件であったものが4年後には60件と大きく増加している。依頼内容は、草刈りや墓地清掃、不用品の処分と多岐にわたっており、地域の高齢化が進む中、今後ますます地域ニーズの高まりが予想される。本町にも人材センターに会員登録し、活動しており高齢者にとって数少ない働く場となっている。

人材センターは、これまで町民の快適な暮らしづくりに大きな役割を果たし、また、働く意欲のある高齢者の収入を得る場としての役割も担ってきた。解散に伴い高齢者の生活支援サービスも失われることが非常に危惧される。本町でも新たな人材センター等の仕組みづくりの具体策について検討しているか。



清岡町民生活課長

答 シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき

設立された団体で、中芸広域シルバー人材センターも平成10年の設立以来、地域社会への貢献と高齢者自身の福祉と健康の増進を図ることを目的に事業を実施している。

今般、会員の高齢化や会員数の減少などにより12月末解散に至るまでの過程で、行政も交えた協議の場が設けられなかったことは大変残念と

考えているが、解散後は働く意欲のある高齢者への就業機会の確保という側面から、その受け皿となる仕組みを検討する必要がある。

また、利用される方のニーズが今後高まることも考えられるので、そのような点からもシルバー人材センターの役割は大きいといえる。

一方で、現役世代の定年



草刈り作業 (イメージ)

延長や再雇用など雇用制度は変化し、60歳代の新規加入者の減少により会員の高齢化が進んでいる状況において、人口規模や利用者数、運営にかかる体制整備等を

考慮すると、新たな人材センター設置は、町単独ではなく広域で再度検討することが望ましいと考えているが、いずれにしても、中芸広域シルバー人材センター

解散後の受け皿として、本町としては、既存の仕組みを活用する形で関係団体に働きかけを行っているところである。

地域で必要とされる短期的、臨時的な仕事やボランティア活動に意欲のある高齢者が活躍できる仕組みを作るため、関係団体とともに検討を行っていききたい。

選 挙

◆選挙管理委員会委員及び
補充員の選挙◆

内 容

選挙管理委員会委員4人と補充員4人の任期が12月25日で満了となることから、後任委員について議会で選挙を行ったもの。
指名推選により、次の者が当選した。

◎選挙管理委員会委員

西岡 正彦氏(与床)

西岡 博文氏(唐浜)

豊永 均氏(安田)

西山 眞里氏(西島)

◎選挙管理委員会委員補充員(補充順位順)

内川 浩助氏(安田)

小川美知子氏(安田)

手島 裕恵氏(東島)

武内 恭子氏(間下)

専 決 処 分

◆令和6年度一般会計補正予算(第4号)◆

内 容

10月9日の衆議院解散に伴い、10月27日に執行された衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行経費の予算措置に急を要したため、10月4日付けで専決処分したものを。

○衆議院議員総選挙事務費用の追加

460万円

補正後の予算総額

33億2810万円

審議結果…全員賛成(承認)

人 事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求める件◆

内 容

人権擁護委員法の規定により、法務大臣から委嘱されている本町の人権擁護委員2人のうち、1人の任期が令和7年3月31日で満了になることから委員候補を選任し、推薦するため、議会の意見を求めるもの。



横山 仁一 氏 (東島)

審議結果…全員賛成(適任)

指 定 管 理 者 の 指 定

◆安田町地産外商促進センター「安田と夢のフアクトリー」指定管理者の指定◆

内 容

指定管理者の公募、選定手続きを行った結果、菓福(かふく)代表者 池内美来を指定管理者に指定するもの。
同指定管理者は、和菓子製造の実績があり、安定的な販路があるうえ、既存の取引先の他複数の販路拡大戦略が示され、良好な施設運営が期待できる。指定期間は町長が定めた日から令和12年3月31日まで。

答 指定管理者と定期的に協議する場をもち、十分に経営が継続していけるかどうか確認しつつアドバイスもしながら長期的に監視していきたい。また、従業員2人が安田町に移住し、商品開発・販路拡大等も図っていく強い決意が示されていることから、町も全面的にバックアップしていきたい。

審議結果…全員賛成(可決)

規 約 変 更

◆中芸広域連合規約の変更◆

内 容

社会経済情勢が大きく変化する中で、中芸広域連合の共同で取り組む事務に、「防災(大規模災害における受援)に関する事務」と「広域的な自治体DXの推進に関する事務」を加える一方、「関係町村の企業立地に関する事務」

問 (黒岩議員)
指定管理が安定的に行われるためには、指定管理者との連携は不可欠と思われるが、今回、新たな指定管理者に対しどのような考えがあるか。

を削除することとし、これらの変更に伴い広域連合規約を変更するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

補正予算

◆令和6年度町一般会計補正予算(第5号)◆

内容

本年度事業に係る追加及び、事業確定等に伴い減額措置を行うもの。

補正の主な内容

○生活バス路線運行維持費補助金の追加 969万円

○戸籍等標準化システム改修費の減額 1810万円

○安芸広域市町村圏事務組合(ごみ処理施設整備)へ補助金の追加 687万円

○県営林道開設事業負担金の減額

719万円
○安田町文化芸術活動ブラッシュアップ事業補助金の追加 57万円

○安田町地産外商促進センター修繕費の追加 367万円

○県道整備負担金の減額 820万円

○中学校昇降機設置工事設計費の追加 260万円

○中芸5町村文化財保存活用地域計画策定委託料の減額 423万円
など

総額2710万円減額

補正後の予算総額

33億100万円

質疑

問(黒岩議員)

一般会計第5号補正では2710万円の減額となっている。本年度予算も財政調整基金を計上して編成さ



安田町地産外商促進センター「安田と夢ファクトリー」

れているが、年度末に向けて財政見通しはどうか。

答 令和6年度当初予算への財政調整基金繰入金は3億4000万円を計上してスタートした。その後、地方交付税確定や、前年度繰越金

の調整、そして今回の第5号補正の調整で、現在財政調整基金は2億6800万円まで減額している状況にある。今後、年度末に向けて事業確定に伴う不用額の整理や、国の地方交付税の追加があると思

われるが、最終的には3月補正を持って全体の調整を図っていく。令和4・5年度は財政調整基金を取り崩さず収支均衡を図れたが、本年度は一定額の取り崩しが必要になってくると見込んでいる。

問(鶴田議員)

安田町文化芸術活動ブラッシュアップ事業の内容は。

答 本事業は、令和8年に高知県で国民文化祭が開催されるにあたり、文化芸術の機運を高めるため県が創出した事業。今回、本事業の採択を受け、四万十市で中芸の日本遺産のこれまでの資料等を展示する計画で、広くPRを行っていく。

審議結果…全員賛成(可決)

第8回臨時会

令和6年12月23日開会、条例改正、一般会計及び簡易水道事業会計補正予算を審議し、同日閉会した。

条例改正

- ◆ 職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆ 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
- ◆ 第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◆ 町長等の給与等に関する条例の一部改正
- ◆ 議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

内容

人事院勧告に基づき国家公務員の給与改定状況を踏ま



役場窓口

え、民間給与との較差を埋めるため初任給の大幅な引き上げや、若年層に重点を置いた職員（任期付職員、会計年度任用職員含む）の給料表の改

正を行い、平均3・0%引き上げるものとし、期末・勤勉手当も0・1月分引き上げ、年間支給月数を4・6月分とするもの。

特別職及び議会議員の期末手当の支給月数は0・05月引き上げ、3・25月分とするもの。

給料の改正は、令和6年4月1日に遡って適用する。

審議結果…5件とも全員賛成 (可決)

補正後の予算総額

33億1990万円

◎簡易水道事業会計(第1号) 給与等の改定に伴う人件費を追加し、水道使用料収入、消費税還付金及び一般会計からの繰入金の整理を行うもの。

補正予算

- ◆ 一般会計及び簡易水道会計補正予算

内容

給与改定に係る職員の人件費について、追加の措置を行うもの。

補正の内容は

◎ 一般会計(第6号)

○ 職員の人件費追加

1720万円

○ 簡易水道事業会計繰出金

170万円

総額1890万円追加

総額38万円追加

補正後の予算総額

2億7376万円

審議結果…2件とも全員賛成 (可決)

賛否表 (令和6年12月定例会)

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ▲：除斥 ー：議長

議案名	鶴田 亀代志	安並 功裕	太田 賢三	内川 一則	田之上 健太	小松 延茂	中島 瑞夫	黒岩 円	小松 憲次	佐竹 正利	可 否
専決処分承認 (令和6年度町一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	承認
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	無記名投票(投票総数9票) 賛成9票、反対0票									ー	適任
安田町地産外商促進センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
中芸広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
令和6年度町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決

賛否表 (令和6年12月臨時会)

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ▲：除斥 ー：議長

議案名	鶴田 亀代志	安並 功裕	太田 賢三	内川 一則	田之上 健太	小松 延茂	中島 瑞夫	黒岩 円	小松 憲次	佐竹 正利	可 否
職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
町長等の給与等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
令和6年度町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
令和6年度町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決

議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください *次回の定例会は、3月上旬にひらかれます。

議会のページ

10月

16日 四国8の字ネットワーク整備促進 四国東南部連盟秋期要望

(香川県)

18日 デジタル化推進検討委員会

25日 トップセミナー

30日 第2回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会

(奈半利町)

31日 第62回四国地区町村議会議長会研修会

(香川県)

11月

1日 高知県戦没者追悼式

5日 町戦没者等追悼式

6日 議員協議会

8日 第76回関東高知県人大懇親会

(東京都)

9日 安田町社会福祉大会

12日 海部郡・安芸郡議長連合会 中央要望活動

(東京都)

県選出国会議員と町村議会議長との意見交換会

(東京都)

13日 第68回町村議会議長全国大会

(東京都)

14日 安芸郡町村議会議長会先進地視察

(茨城県)

18日 安田川分水対策委員会

19日 議員協議会

21日 総務教育常任委員会

22日 産業厚生常任委員会

26日 第34回安田川分水連絡協議会

(高知市)

28日 四国8の字ネットワーク整備促進 四国東南部連盟中央要望

(東京都)

30日 第31回寧浦全国色紙展

12月

3日 高知県町村議会議長会理事会

(高知市)

4日 議員協議会

6日 議会運営委員会

19日 議員協議会

20日 第4回中芸広域連合議会定例会

23日 安芸郡町村議会議長会臨時総会

24日 第3回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会

26日 第3回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会

3日 二十歳を祝う会

7日 議員協議会

9日 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会

12日 中芸広域連合消防出初式

3日 議員協議会

9日 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会

12日 中芸広域連合消防出初式

1月

7日 議員協議会

9日 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会

12日 中芸広域連合消防出初式

火鎮祭及び消防団員懇親会

(田野町)

(高知市)

(高知市)

(高知市)

(高知市)

(高知市)

編集後記

「旬な歳時記」春を告げる山菜、代表的なのがタラの芽やフキノトウだが、イタドリもまたそのシャキシャキした食感から、山菜ファンの中でも王道にあげる声も多い。別名スカンポとも呼ばれ、日当たりの良い道端・土手・野山など至る所に群生している。平安時代から切り傷ややけどに若葉を飲んで塗ったことから止血鎮痛効果があり、痛みをとることからイタドリと呼ばれる。3月から4月にかけている。

「旬な歳時記」春を告げる山菜、代表的なのがタラの芽やフキノトウだが、イタドリもまたそのシャキシャキした食感から、山菜ファンの中でも王道にあげる声も多い。別名スカンポとも呼ばれ、日当たりの良い道端・土手・野山など至る所に群生している。平安時代から切り傷ややけどに若葉を飲んで塗ったことから止血鎮痛効果があり、痛みをとることからイタドリと呼ばれる。3月から4月にかけている。

また、春の山菜は加工し保存食としても人気があり直販所やスーパーなどの店頭に並んでいるが、食品衛生法の改正がなされる中、食を取り巻く環境の変化とともに、加工技術をもつ人たちが減少している。私は伝統的な日本の食文化が消えつつあることに危機感をもっている。

(編集委員 中島)



議会広報発行人

議長 佐竹 正利

議会広報編集委員会

委員長 内川 一則
副委員長 黒岩 円
委員 鶴田 亀代志
委員 安並 功裕
委員 田之上 健太
委員 中島 瑞夫

各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

開催日 令和6年11月21日

調査事項

①令和6年度総務課・地域創生課・教育委員会からの資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

- ②視察研修について
- ③その他

経過 総務課・地域創生課・教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果 ◎旧安田分団消防屯所解体工事後の跡地について、有効な活用策を検討すること。また、活用実施までにおける跡地管理についても適正な管理を求める。



総務教育常任委員会

◎学校現場でのGIGAスクール推進において、ICTを活用した学習に関する諸々の作業や業務など教育環境の整備に課題は多いが、国の目指す教育格差をなくすためにも現状の運用等について、調査を行うよう求める。

産業厚生常任委員会

開催日 令和6年11月22日

調査事項

①令和6年度経済建設課・町民生活課の主要事業の実施状況について

- ②遊休農地について
- ③来年度の視察研修について
- ④その他

経過 経済建設課・町民生活課から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果 ◎荒廃林増加に伴う、森林の多面的機能の低下防止対策として、保育間伐事業の実施をする



産業厚生常任委員会

にあたり、実施においては、森林組合等専門的技術を要するため、可及的速やかに計画実施できよう努めること。